

情報公開文書

Dopamine Transporter Imaging による標準 SBR を使用したソフトウェアに関する
検証

1. 研究の対象

2017年12月31日までに当院で核医学検査 ^{123}I -ioflupane (DatScan®) を受けられた方。

2. 研究目的・方法

【目的】

脳内のドパミントランスポーターを画像化する ^{123}I -ioflupane (DatScan®) における画像評価法としてBolt法が使用されSBRを算出し診断の一助として利用されている。今秋、日本メジフィジックス株式会社が ^{123}I -ioflupaneの発売から数年で得られた臨床データを基に標準SBRを算出するソフトウェアを開発した。これにより定量される被験者の線条体取り込みを正常脳と比較することを可能とした。本研究は上記ソフトウェアの有用性を検証することを目的とする。

【方法】

- 後向き研究
- 得られている過去データを線条体への ^{123}I -ioflupane (DatScan®) 集積程度により抽出し分類する。ソフトウェアにて提唱されている正常域と画像診断結果・臨床診断結果・視覚評価結果との整合性等を評価する。
- 尚、調査対象は既存の検査結果であり対象に新たな負担等はない。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢 (検査当時), 疾患名, 検査結果により算出される SBR 値 臨床画像

【この研究での検体・診療情報等の取扱い】

宇多野病院倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所が特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問合せください。ご希望があれば他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障のない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することが可能ですのでお申出ください。

また情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合、研究対象といたしません。下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を生じることはありません。

紹介先および研究への利用を拒否する場合の連絡先
〒616-8255 京都府京都市右京区鳴滝音戸山町 8
国立病院機構 宇多野病院 放射線科 酒井隆至
TEL (075)461-5121 (代表)